

大河ドラマの官兵衛もクライマックスに向けて進行中である。その息子長政の家来に黒田一成がいる。一成の父は有岡城に官兵衛が幽閉されたおりに何かと助けたようで、官兵衛はその子一成を長政の弟のように育て、黒田の姓を与えている。我が家はその一成の家来であった。宇都宮鎮房は長政の騙し討ちに合うが、我がご先祖様はその時に刀を振ったのであろうか。私と同じ専門領域で他大学出身の宇都宮先生がいて、話をするとそちらもご先祖であり、426年前の恨みを酒で流そうということになった。その話を別の先生にするとなんと母方は宇喜多家の豪姫につながるお家柄で、父上は平家につながり、和算を「塵劫記（じんこうき）」で学ばれたそうだ。同じ学問を学ぶ子孫が戦国時代のご先祖様の話ができるこの国の時の流れに驚きと幸せを感じている。歳を重ねたということか。